

# 平成30年度 町長施政方針

平成30年町議会定例会3月会議が、2月22日から3月20日までの27日間にわたり開催され、初日に高橋昌造町長が町政運営の所信を述べました。

ここでは、町長の平成30年度施政方針（要旨）と予算の概要についてお知らせします。

## 努力の継続、人のつながり、本質追求を キーワードにまちづくりを推進！

皆さまも既に「ご存じのとおり、

高橋幸平選手が平昌パラリンピック代表に選ばれました。これまでの本人の努力とご家族をはじめ関係者の皆さまに改めて敬意を表するものであります。

高橋選手は、バンクーバーパラリンピックの代表であった横澤高德さんと交流があり、その中で高橋選手は「努力し続ければ、無理なことなんてない」とアドバイスを受けていたと伺っております。

このような人と人とのつながりが、若者の夢を実現する原動力となり、大きな飛躍となったことは大変喜ばしいことと思っております。

また、不來方高校の音楽部は昨年10月に大阪市で開催されました「第70回全日本合唱コンクール全国大会高等学校部門」で10年連続の金賞、特別賞、さらに3年連続7度目となる最高賞の文部科学大臣賞に輝きました。また、矢巾北中学校特設合唱部も全国大会銅賞を獲得するなど音楽のまちとして大きな成果を

あげました。

不來方高校は、大会において単に連覇を目指すのではなく、高い芸術性と音楽性を追求していることが称賛されました。

いずれも本町の誇りであり、多くの町民に勇気と感動を与えてくれたことは、本町の大きな財産となるものであり、努力の継続、人とのつながり、本質の追求など、私たちのこれからのまちづくりのお手本になるものと感じております。

平成30年度は、第7次矢巾町総合計画の基本理念であります『希望と誇りと活力にあふれ躍動するまちやば』の実現を目指し、まちの個性を生かし、輝き続ける矢巾町を議員各位、そして町民の皆さまとともに「チームやば」として心一つにして作り上げていくため、今後とも諸施策に精力的に取り組んでまいります。

平成30年度の財政運営は、厳しい状況ではあるものの第7次矢巾町総合計画を基本に、持続可能なまちづくりや将来に向け

た積極的な投資や先駆的な取り組みを「まちづくり改革元年」と位置付けて推進します。

まず、地方創生ですがウエルネスタウンプロジェクトとして岩手医科大学と連携し、地域医療課題の解決に向けた取り組みを進めてまいります。さらに矢巾町の魅力発信についてローカルブランディングとして推進し、産業振興、移住定住促進、ふるさと納税の拡大につなげます。

また、持続可能なまちづくりとして、温室効果ガス排出削減と災害時においても地域で一定のエネルギーを賄うことを目指し、自立・分散型エネルギー供給システムの確立を進めます。

これらを連動させることで、矢巾町総合戦略の基本目標であります「まちの発展を支える雇用の創出」「家族全員が健康で笑顔がたえない家づくり」「自然が豊かで全世代が安心して暮らせるまち」の実現に向けて町民憲章に掲げる「和といたわりと希望の町」を常に目指し、着実に行政運営を遂行してまいります。

平成30年度当初予算の概要について、第7次矢巾町総合計画の施策の大綱であります、まちの将来像の実現に向けた7つのまちづくりの方針に沿って、主要な事業に関し具体的な取り組みや直面する課題を、ご説明申し上げます（左ページ参照）。

平成30年は、徳丹城跡を将来にわたって地域の魅力として活用・発信するべく関係自治体と連携し、日本遺産の認定を目指します。

また、平成28年度に「音楽のまち」を宣言し、芸術文化を推進して人づくりを進めているところではありますが、平成30年度は「スポーツのまち」としてスポーツの振興策を人づくりの柱に加え、多様な価値観に対応したまちづくりを進めてまいります。

町民の皆さまのなご一層のご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

# 平成30年度 施政方針の主な施策

## ① 健やかな生活を守るまちづくり

■ **高齢者の生活支援・介護予防**…高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう「地域包括ケアシステム」の実現に向け、在宅医療と介護の連携に加え、介護予防・日常生活総合支援事業を実施します。

■ **子育て支援の拡充**…新たに「新生児聴覚検査」と「不妊治療検査」の費用助成事業を実施します。

■ **健康づくり**…町民の健康意識の向上と生活習慣の改善を促し、生活習慣病の発症・重症化の予防をして、健康寿命の延伸を目指します。

■ **地域福祉の充実**…「相談支援包括化推進員」を配置し、困難で複合的な課題の解決に向けた相談支援体制の充実を図り、地域の困りごとは地域で解決できるような共生社会の実現を目指します。

■ **自殺対策**…困りごと相談、支援者の技術向上研修に取り組み、若年層にはSOSの出し方教育を実施し、包括的な支援を進めます。

■ **難病患者および家族の支援**…国の法律に基づく支援のほか、県央保健所や（一社）岩手県難病・疾病団体連絡協議会と連携し、相談支援を強化します。

■ **障がい福祉の充実**…「紫波地区障がい者基幹相談支援センター」を中心に、障がい者や障がい児の方が相談しやすい体制を強化します。

## ② 時代を拓き次代につながるひとづくり

■ **児童福祉の充実**…放課後子ども教室を実施し、放課後児童のさらなる健全育成を図ります。また、児童虐待事案は関係機関と連携し、早期対応や再発防止に努めます。

■ **学校教育**…総合教育会議で教育の方向性や重点施策を共有して「矢巾町いじめ防止対策に関する条例」で規定した事項を着実に実行し、いじめのない学校や社会を目指します。

■ **学校の環境整備**…建築年次の古い町立小・中学校を対象に、トイレの洋式化を実施します。

## ③ 利便性と発展性を高めるまちづくり

■ **市街地整備**…矢幅駅前地区の換地処分に向けて事務を進めます。また、継続して「やはばーく」で各種イベントを開催し、中心市街地の活性化とにぎわいの創出に努めます。

■ **矢巾スマートインターチェンジ関連の整備**…スマートインターチェンジに関連するアクセス道路の交差点改良と拡幅工事をします。また、この地域の生活道路整備は地域の要望に応えられるよう進めます。

■ **利便性の向上**…コンビニで、住民票や各種証明書の発行ができる「コンビニ交付」と税の納付ができる「コンビニ納付」に取り組みます。

## ④ 快適性と安全性を高めるまちづくり

■ **上水道**…岩手医大附属病院の開院による水需要への対応も視野に入れながら、水道施設の耐震化整備を進め、

9月に完成する東部新配水場を拠点に安全安心な水の供給に取り組みます。

■ **防災への取り組み**…防災体制の強化・充実のため、町消防団と機能別消防団の団員確保やポンプ車の更新を行うほか、非常用食料品や衛生用品を備蓄します。また、防災ラジオを核とした非常時通信手段の整備や防災の講習会・訓練を行い、町民の防災体制の強化と意識高揚を図ります。

■ **空き家対策**…危険なまま放置された空き家の迅速な撤去や周辺への被害防止を実施する仕組みを検討するとともに、利用可能な空き家についてはその活用を視野に入れた取り組みを行います。

## ⑤ 産業の活力を高めるまちづくり

■ **農業の振興**…「中山間地域等直接支払交付金」や「多面的機能支払交付金」などを活用し、経営規模の拡大や戦略作物の生産促進を図ります。また、「農業次世代人材投資資金」をはじめとする各種制度を活用し、農業従事者の確保・育成を支援します。さらに、農業経営の法人化を推進するとともに、経営の質の向上を支援します。

■ **6次産業化の推進**…これまでの支援を継続しつつ、農業者の意識やレベルに応じた支援を行うとともに、販売会や商談会などの実践的な取り組みを強化します。

■ **商工業の振興**…岩手医大附属病院の開院による人の流れの変化を見込み、起業家の支援、新規店舗と既存店舗の連携を図り、中心市街地の活性化につなげます。

■ **企業誘致の推進**…各種土地利用計画との調整を図り、企業ニーズとのマッチングを進めます。

■ **雇用対策**…町内に居住し安定して仕事を続けられるように、職業選択に関する学習機会を提供するとともに、町内企業への理解を深める「実践型インターンシップ」の実施体制の構築に取り組みます。

■ **観光の推進**…「ひまわり畑」や矢巾温泉郷付近にある花畑の整備を進め、さらなる誘客に努めます。

## ⑥ 豊かな生活環境を守るまちづくり

■ **循環型社会の形成**…省資源、省エネルギー、ゼロエミッション、3R運動など、地域特性にあわせた循環型社会の形成に向けた取り組みを推進します。

■ **地球温暖化防止**…町内防犯灯や公共施設へのLED照明の導入を推進、省エネルギー機器の普及などに努めて二酸化炭素排出量の削減を図ります。

## ⑦ 安心と信頼が寄せられる行政経営

■ **住民協働のまちづくり推進**…町民のニーズを踏まえた質の高い施策を展開するため、草の根型のコミュニケーションを基本とし、フューチャーデザイン手法に取り組みます。

■ **適正な行財政運営の推進**…政策の有効性と透明性を向上させるための「事務事業評価」を実施します。また、高度化する政策課題に対応するため、人材育成と他機関との人事交流によって職員の資質向上と組織間ネットワーク構築に取り組みます。

平成30年度一般会計

# 予算

## 108億9,500万円

限られた財源を有効に活用

主な事業の内容

<単位:万円(千円を四捨五入)>

民生費

- ▶多機関協働包括的支援体制構築事業 600
- ▶重度心身障害者医療費助成事業…… 7,933
- ▶障害者支援事業…… 5億 361
- ▶障害児福祉事業…… 1億 869
- ▶児童館運営事業…… 7,305
- ▶町立保育園運営事業…… 6,808
- ▶日常生活支援事業…… 976
- ▶保育委託事業…… 6億 1,856
- ▶私立保育園助成事業…… 1,320
- ▶認定こども園施設型給付事業… 2億 7,955
- ▶母子福祉医療費助成事業…… 1億 1,014

土木費

- ▶道路維持事業…… 6,993
- ▶除雪事業…… 2,742
- ▶町道改良舗装事業…… 1,291
- ▶生活道路整備事業…… 959
- ▶交通安全施設整備事業…… 1,808
- ▶矢巾スマートインターチェンジ整備事業…… 5億 9,396
- ▶岩手医科大学関連道路整備事業 3億 7,582
- ▶橋りょう長寿命化事業…… 4,950

労働費

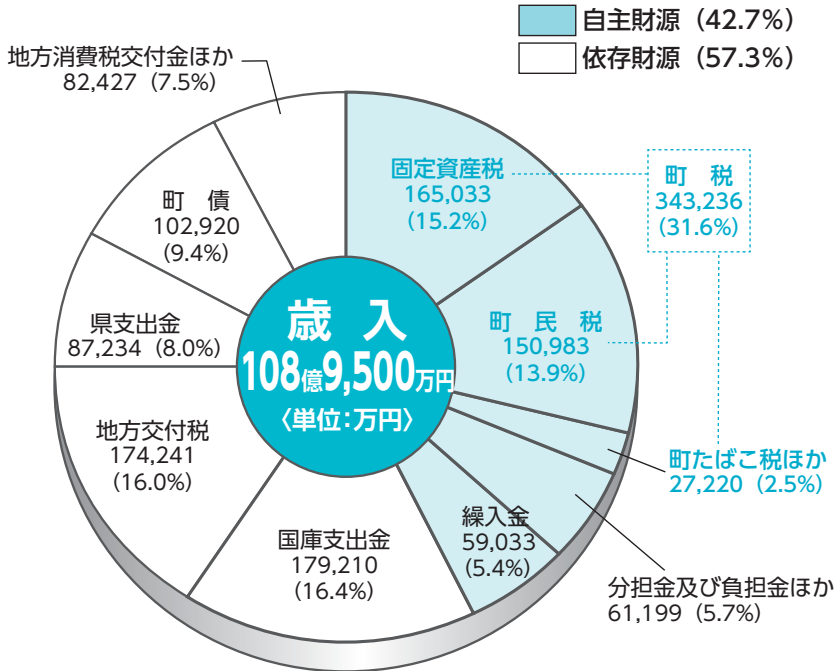
- ▶就労者支援事業…… 1,608

予算は、4月1日から翌年の3月31日までの一年間に、町がどんな事業にどれくらいの経費をかけて行うかを示すもので、一般会計と特別会計、企業会計の3つからなっています。

一般会計予算

平成30年度の一般会計当初予算は、第7次矢巾町総合計画前期基本計画の3年目にあたり、既存事業の緊急性や費用対効果などを検討しながら、前年度に対して約1億9千万円増額の108億9千5百万円となりました。

町に入るお金(歳入)について、自主財源である町税は、町民税や軽自動車税の伸びが期待されますが、全体で約540万円の減額となる見込みです。自主財源全体では、分担金及び負担金などにより、前年比約



\*\*\* 財政用語解説 \*\*\*

■地方交付税=町の財政力に応じて国から配分されるお金 ■町債=大きな事業を行うときに借りるお金 ■国庫・県支出金=事業に対し国や県から交付される補助金など ■線入金=積立てした基金を取り崩したお金 ■総務費=全般的な事務経費や財産管理、統計調査費、広報経費など ■民生費=高齢者や障がい者、児童などの社会福祉のための経費 ■公債費=事業を行うために借りたお金の返済金 ■自主財源=町税や線入金など町が独自に調達できるお金 ■依存財源=国や県から交付されるお金や割り当てられた収入

総務費



57,766円

衛生費



29,909円

土木費



79,349円

民生費



126,782円

一般会計予算を町民一人当たりで見ると...

398,049円

平成30年3月1日現在の人口27,371人



## 主な事業の内容

<単位:万円(千円を四捨五入)>

### 衛生費

- ▶健康チャレンジ事業……………573
- ▶成人検診事業……………3,964
- ▶母子保健事業……………4,899
- ▶予防接種事業……………6,070
- ▶ごみ処理場運営事業……………4億2,695
- ▶し尿処理場運営事業……………4,125
- ▶矢巾斎苑運営事業……………1,325

### 総務費

- ▶公共施設等先進的CO2排出削減対策モデル事業…3億3,625
- ▶明るいシンボルロード整備事業……………1,858
- ▶地方創生事業……………1億164
- ▶コミュニティ推進事業……………1,939

### 農林水産業費

- ▶6次産業化推進事業……………330
- ▶担い手育成事業……………1,029
- ▶生産調整推進対策事業……………895
- ▶農業生産振興対策事業……………3,027
- ▶日本型直接支払事業……………1億8,379
- ▶農業基盤整備事業……………6,181

### 教育費

- ▶小学校維持管理事業……………5,219
- ▶小学校教育振興事業……………3,074
- ▶中学校維持管理事業……………4,014
- ▶中学校教育振興事業……………4,539
- ▶音楽のまち事業……………266
- ▶矢巾町公民館事業……………5,796
- ▶田園ホール管理運営事業……………2,850
- ▶体育施設整備事業……………4,543
- ▶共同調理場管理運営事業……………5,589

### 消防費

- ▶常備消防事業……………2億6,354
- ▶非常備消防事業(消防団など)……………3,640
- ▶消防施設整備事業……………4,327
- ▶水防事業……………158
- ▶災害対策事業……………1,837

### 商工費

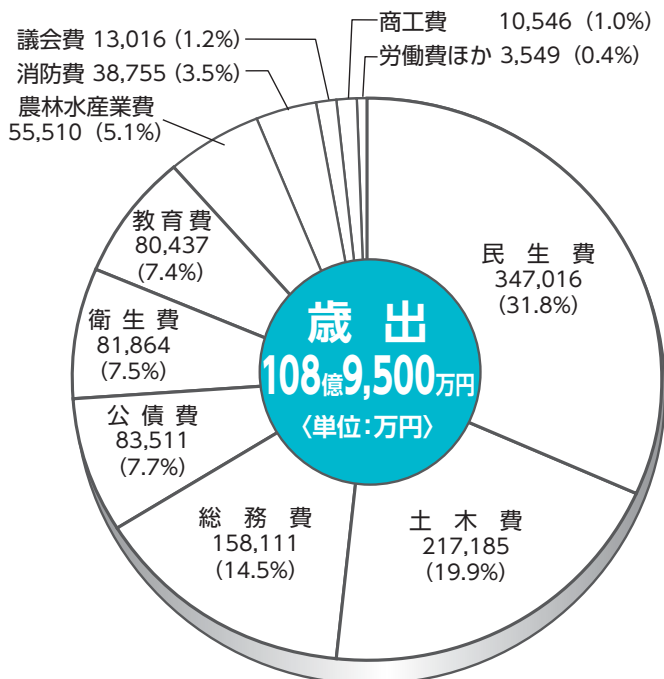
- ▶商工業振興事業……………1,208
- ▶中小企業支援事業……………179
- ▶企業誘致推進事業……………204
- ▶観光推進事業……………2,050
- ▶自然公園管理運営事業……………672

**特別会計・企業会計予算**  
特別会計は、国民健康保険事業など4特別会計で、総額約55億円となりました。駅前地区の整備事業を行う矢幅駅周辺、土地区画整理事業特別会計は、約6億4千万円となっています。また、企業会計である上、下水道事業会計は、総額で約4億6千万円となっています。

1億7千万円の増額となり、全体に占める自主財源の割合は42.7%となりました。

依存財源では、国庫支出金や県支出金の増額が見込まれ、全体で約2千万円の増額となりました。

お金の使い道(歳出)では、地方創生の推進や公共施設等先進的CO2排出削減対策モデル事業などにより増額となっています。



平成30年度特別会計・企業会計の予算 単位:万円(千円を四捨五入)

会計名	予算額	会計名	予算額
国民健康保険事業	255,389	水道事業	収益的支出 53,801
介護保険事業	212,754		資本的支出 177,641
後期高齢者医療	20,009	下水道事業	収益的支出 104,881
矢幅駅周辺土地区画整理事業	64,044		資本的支出 69,541

#### 消防費ほか



24,064円

#### 教育費



29,388円

#### 農林水産業費



20,280円

#### 公債費



30,511円